

全日本デリバリー業安全運転協議会 会長 様

謹啓 春寒の候、貴台におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から警察行政各般にわたりまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、この度警察庁では、令和元年中の交通死亡事故等を分析した、「令和元年における交通死亡事故の発生状況等について」を公表いたしました。

昨年の交通死亡事故の特徴としましては、

- 交通事故死者数は減少  
前年比-317人、-9.0% (過去5年平均減少率-3.9%)
- 高齢者の自転車乗用中死者数は増加  
前年比+5人、+1.7% (過去5年平均減少率-4.5%)
- 75歳以上の高齢運転者による死亡事故件数は減少  
前年比-59件、-12.8% (過去5年平均減少率 0.0%)
- 飲酒死亡事故件数は減少  
前年比-22件、-11.1% (過去5年平均減少率-3.4%)

が挙げられます。

(別添1「令和元年における交通死亡事故の発生状況等について」のとおり)

また、昨年末には、貴台に12月に増加が予想される死亡事故をお知らせし、交通安全の取組への御協力を賜りました結果、昨年12月の全国の交通事故死者数は、前年同月比-54人(-13.2%)の356人と取組強化の成果が見られました(別添2「令和元年12月における交通事故死者数の状況」のとおり)。しかしながら、本年に入り、1月の交通事故死者数は262人(前年同月比-3人、-1.1%)と減少率が低調となっており、今後、前年同月と比べ、増加に転ずることが懸念されます。

警察といたしましては、昨年の分析結果を踏まえ、交通安全教育・広報啓発活動及び指導取締り等の推進に取り組んでまいります。

今回の分析結果を送付いたしますので、職域や地域における周知を通じて交通安全意識を高めていただきますとともに、交通事故防止の取組をより一層推進していただきますようお願い申し上げます。

なお、本分析結果については、警察庁のウェブサイトにも掲載しております。

敬具

令和2年2月14日

警察庁交通局交通企画課長

早川 智之